

<活動報告書>

フリガナ	ヒョウゴケンリツササヤマサンギョウコウトウガッコウ	
①団体名・学校名	兵庫県立篠山産業高等学校	
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	土木科/電気建設工学科 (建設コース) 科長
	TEL	079-552-1194
E-mail		
③申請テーマ	四阿 (あずまや) 整備プロジェクト	
④活動期間	2019年 4月 ~ 2020年 1月	
⑤活動内容を記載	<p>活動目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三年間学んできた専門科目の知識や技術を生かして、ものづくりの楽しさや魅力を体験することができる。 ・自分たちが手掛けたものが継続的に使用されることにより、建設業のやりがいを感じることができる。 ・ものづくりとは実習や課題研究などで培った技術や知識だけでできるものではなく、使う人のことを考えて取り組むことが重要だと感じる機会となる。 ・実技の伴う授業を通して建設業の魅力を体験することで、建設業への入職希望者を増やす。 <p>具体性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の実習や課題研究を通して、本校敷地内に四阿を整備した。 ・(一社)兵庫県建設業協会(篠山支部)と連携し、生徒・職員に対して施工方法や技術指導を受けながら実施した。 ・将来、本校で生産した農作物(農業科)の販売実習において四阿を利用する。 ・地域に根付いた取り組みとなるように一般に公開し、課題研究発表会や学習成果発表会で取り組みを発表した。 	
⑥活動費用合計	150,609 円	
⑧別紙説明資料の有無	ある ・ なし	

<活動状況写真>

【写真1】



(状況説明)
写真【左】本校の施設(農場)内に四阿を整備するために計画・測量を行い、掘削。(建設機械は建設業協会協力)
写真【右】四阿の基礎部分を施工するために建設業協会の指導を受け、丁張を設置。

【写真2】



(状況説明)
写真【左】四阿の基礎コンクリートを施工するために建設業協会の指導を受け、型枠を設置。
写真【右】四阿の基礎部分を施工するために、ワイヤーメッシュを設置し、コンクリートを打設。

【写真3】



(状況説明)
写真【左】各部材の墨付け。
写真【右】ほぞと、ほぞ穴の加工で、ほぞはのこぎりを使用し、ほぞ穴は角のみ盤を使用。

<活動状況写真>

【写真4】



(状況説明)
 写真【左】四阿の骨組み部材を接合するためのホゾ穴あけ加工。
 写真【右】柱部材の仕口（ほぞとほぞ穴、蟻）加工。

【写真5】



(状況説明)
 写真【左】寸法通りに作らないとうまく組めないため、各部材の調整加工。
 写真【右】柱が垂直になるように仮筋交いで固定し、棟上げを行った。屋根はガルバニウム波板（トタン）を使用。

【写真6】

毎 日 新 聞 2019年(令和元年)11月29日(金) 丹波 但馬

力合わせて小屋づくり

篠山産業高生「達成感すごい」

県立篠山産業高生土木科の 横3・6、高さ2.7まで生徒たちが手を3年生(3)人が、県建築・5級、資格を2・7流した。協会篠山支部(山本重夫支部)が、同校で青建設業へ道開く長12社(社)の指導で、校てた作物の販売に使用小建の建設を進めた。木造の、さる予定、設備所の測量や基礎工事、ものづくりの関与がトタン屋根の取り付け、やりがいを感しても【丹波 丹波】

「達成感すごい」
 らい、人手不足が深刻な建設業界への就職促進につながるが狙い。この日、作業を見守った同支部の福島副支部長は「我々にとっても『達成感』がすごく、慣れておらず最初は戸惑ったが、生徒たちは真面目に、熱心に取り組んでくれた。これからまで完成させたい。素晴らしい出来栄だ。橋本洋樹さん(18)は、柱の取付けが難しかった。初めての経験で、貴重体験ができた。すぐ達成感があった。これから生かして活躍してほしい。」

土木科 佐藤 誠
 生徒たち 篠山産業高生

(状況説明)
 写真【左】完成。新聞に掲載。